

**授業概要**

企業論では、現代の経済社会の発展をリードしている企業について、その組織的特性と企業行動、そして組織の持続的発展に向けてのガバナンス機構、社会的貢献、さらにはグローバル時代の中での世界戦略を見据えた事業展開の変化などを、具体的な事例企業を取りあげながら講義する。

**授業計画**

第1回	企業とは何か
第2回	企業形態と株式会社などの特質
第3回	コーポレートガバナンスとは何か
第4回	日本におけるコーポレートガバナンスの諸問題
第5回	日本経済の発展と日本企業の果たした役割
第6回	日本的経営の特質と評価
第7回	日本産業と日本企業・・・自動車産業における企業行動の特質
第8回	日本産業と日本企業・・・電機産業における企業行動の特質
第9回	日本産業と日本企業・・・生産設備産業における企業行動の特質
第10回	大企業と中小企業の事業展開の比較
第11回	大企業と中小企業における取引構造の特質
第12回	欧米企業と日本企業・・・企業再編とM&A
第13回	グローバル時代の企業間競争と独占・寡占
第14回	社会的貢献と企業倫理
第15回	経済社会の豊かな発展に向けての企業の役割
第16回	期末試験

**到達目標**

経済社会をリードする企業の特質を、様々な視角により学ぶことで、企業の事業活動に対して客観的な見方、評価ができるようになることを目的とする。

**履修上の注意**

企業とは何かを理解することは、皆さんの今後の人生において重要な意味を持つと考えているので真摯に受講すること。

なお、講義内容を理解するためにも、遅刻せず受講すること。

**予習・復習**

日々の経済ニュース等で取りあげられている企業に関心を寄せるだけでなく、なぜ取りあげられているかを調べるといった習慣をつけることが、企業論における講義内容を理解する手がかりを得ることになる。復習としては、ニュース等で取りあげられている企業を講義内容と重ねるだけでなく、何が違うかにも目配りすることが重要である。

**評価方法**

期末試験の成績（80%）、受講態度（20%）により評価する。

**テキスト**

特に教科書は使用しない。

参考文献として、

加藤秀雄『外需時代の日本産業と中小企業—半導体製造装置産業と工作機械産業』新評論、2015年

加藤秀雄『日本産業と中小企業—海外生産と国内生産の行方』新評論、2011年、をあげておく。